



今年もみんなで4月収穫祭のお餅をつくことができてきました。

春、くりさんとちびで昨年の稲束から外した種米^{タネ}を田んぼの苗床に種まきしてから実に7ヶ月、今年も一連の田んぼ作業をみんなで体験してきました。

苗を育てる → 田の代かき → 田植え → 田の草取り → 稲刈り

→ 脱穀 → 籾すり → 精米 → やっとお米に!

とまあこうやって書いてみると、稲は育てるだけでなく、食べるまでにはかなりの行程を必要とする作物ですね。この中でも脱穀と籾すりというのは、実際に聞きたげられない言葉かもしれません。脱穀はお米の粒を稲束から外す作業。ひっぴっぴでは足踏^{タビ}脱穀機^{トク}という昔の農家で使っていた機械^{キカ}を使ってやりました。金属の突起^{トゲ}がついたドラムをぶんぶん足で回してそこに稲束を当てて籾^ヒを飛ばします。田んぼシートの上で「さーご」と米粒が飛び散るさまは子供が面白く、ドラムを踏む足もくりさん達は力強いこと。場外に落ちるとお米を愛莉「あー！こぼれちゃった指で一粒ひとつが落ちてくれています。せつ「こぼれちゃった！」「大事なお米だからね」「ねー」と顔を見合せてはにっこり。そして今年はこの次に、ひっぴっぴで初めて籾すりもやってみました。これはお米の一番外側の籾殻^{ヒカ}の部分を取り除いて玄米にする作業です。瓶の中に籾を入れ木の棒で突いて籾殻を取り除くやり方と、すり鉢^{スリハチ}に籾を入れ、野球^{野球}の硬式ボールの縫い目^{ヌイメ}をすりかいて取り除くやり方、どちらも長時間をいって籾には籾殻がきれいに殻が外れず苦戦... 海国「お茶わん一杯分にもたつてお米はいい？」 健太「昔の人のこころはどの？ 大変だね！」まさにその通り。ひっぴっぴ一日やるとはじめては「お米が少なくてさうじ。あくる日のおおきくみで玄米^{玄米}を入れ、煮「ごはん食べられないからかまぼく！」何とか合分ほど全部を炊きあげて玄米にした。

4月収穫祭に向かうには小豆や大豆の脱穀や選別も。同じ場所では育てた花豆や白いんげん、虎豆^{トラマメ}などが混ざっていて、宗悟「この虎豆の模様、虎ははくちやーんらピンクの花豆を見れば海月「きれい〜火田の宝石だね」。選別した小豆はあんこに、大豆はきんぴらにして4月収穫祭でおいしくいただきます。

その後、田んぼには稲わら^{稲わら}を切った土にすきこみ水を入れて冬^冬。これから雪に閉ざる冬の田んぼの景色もそれはきれいなんですよ。 : 美和子 (文中 敬称省略)

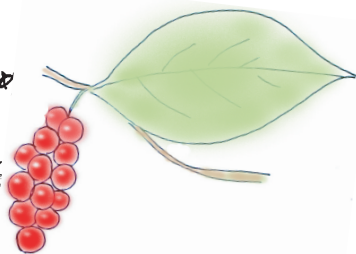
くりさんのお誕生日には、素敵な贈り物があります。春に「みんなは一人一人からとても大切な力をもらっているね。素敵な力、おもしろい力、かっこいい力、笑う力、みんなが気づいたその人からもらった力を思い出してみよう」というまゆさんの声かけからはじまった、言葉の贈り物。それぞれが目をつぶり、その子のことを心に思いそれを言葉にして贈ります。

11月12日は囃^{ハシ}史奈^{史奈}ちゃんのお誕生日の日。一番最初に贈り物をしてくれたのは愛莉ちゃん。「泣いている時に『大丈夫』ってしてくれる。」続いて奏雅くん「じーなちゃん、いっぱい、いっぱい遊んで...」と、嬉しそうな笑顔。海月ちゃん「いつも喧嘩^{ケンカ}ばかりしているけど... じーなちゃんに足が早くなってきた、時々ぬかされることもある！あとじーなちゃんのこと大好き！」健太くん「じーなは取っつかかりやでかわいくておもしろくて、おしゃべりだれにでも大丈夫って言ってあげる。優しい気持ちはみんなの100倍、1本中に溢れている！」海斗くん「じーなちゃんに可愛いくて...」行人くん、權くん、宇大朝くんは「照れながら、やさしい人...」と言ってくれました。そんな時、渚月ちゃん「あー、もう何言うのか、忘れちゃったよ、(と泣き声)」まゆさんがそこで「じーなちゃん、じーなちゃん、清里キャンプで同じ部屋だったけど、どんなことがあったかな？」と聞くと、「あのね！あのね！」と飛びあがって、「じーなちゃんにねえ、な、ちゃんのぬいぐるみロマンくんとまちがえて抱っこしてたんだよー。おもしろかったよ〜」とニコニコ話してくれました。大季くんは「おみせやさんごっこでたくさん買ってきて、嬉しかった。」と言って、真余くんは顔でじーなちゃんに向きあって「いつもありがと。」と伝えていました。宗悟くんは楽しそうに笑いながら「おめでとう。」海国ちゃんも小さな小さな声で「...お誕生日おめでとう...」と伝えていました。

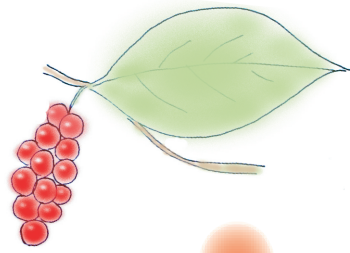
一人一人が本当に友だちをよくみていること、わかっていること、そして、本当に大好きな仲間なんだということが言葉から、表情からも伝わってきました。あんなにかくて、優しいどんな物よりかけがえのないみんなからの気持ちは、こんなやりとりができる子どもたちに、人として大切なことを教えてもらったお米の一日でした。 : 菜々見

ひっぴっぴの森の木の実たち (チョウセンゴシシ 朝鮮五味子)

果実の味が五味(甘、辛、苦、酸、塩)の複雑な味がするんですよ。こんな石前にたまったそうです。私は毎年果実裡^実にして楽しんでいますが、ピンク色のそれは可憐^{可愛}なお酒^酒になります。漢方にもとり入れられることもあり、喉の痛み、咳に交かきま可。滋養強壮^{滋養強壯}効果もあるので、これからの季節にうってつけですね。



お知らせ



- 保護者会を開きます。

日時 12月7日(金) 9時20分～
場所 メインホール

皆さまのご出席を願っています。

- おおきくアート日 12月10日(月)

じっくり描いている時間は特に寒さを感じず。しっかり着込んでの登園を願っています。

- 「小まほクリスマスの集い」のご案内

日時 12月19日(水) 1時30分～2時過ぎ
場所 ひびの森

子ども達がクリスマスの準備を少しずつ始めています。小まほ集いごちがどうぞいらして下さい。1時30分には始めます。25分頃お迎えに来りますので 駐車場でお待ち下さい。

- 11/27(火) 全園私立保育連盟より 3名の園長先生(名取屋、三重、鹿見島)の見学がありました。

- 11/8(日) お父さんの会には、7名のお父さまが参加されました。お茶をいただきながら皆さんが語り、楽しい2時間半でした。今回は一人一人「お題があり」中澤は「家族にとっての愛情とは？」という哲学的なお題があたりました。思い浮かんだのは、「その場に11人かと思いを馳せること」「一人一人についていくこと」でした。よくよく考えみると、ひびも同じだなぁと思いました。やっぱりひびは「大きな家族」です。昨来年、11月頃を予定しています。ご参加を楽しみにしています。

- 長野県野外保育連盟主催の冬キャンプ(2013.1/3～14.日～月)が今年も飯綱で開催されます。詳しくは保護者会でお知らせいたします。